

小林多喜二



[小林多喜二 下载链接1](#)

著者:ノーマ・フィールド

出版者:岩波書店

出版时间:2009-1-20

装帧:新書

isbn:9784004311690

『蟹工船』の作者、小林多喜二（1903—33）。その生き方と作品群は、現代に何を語りかけるのか。多喜二に魅せられ、その育った街・小樽に住んで多くの資料・証言に接した著者が、知られざる等身大の人間像に迫る。生涯、絵画も音楽も愛し、恋の試練に向き合い、反戦と社会変革に生きて拷問死に至った軌跡が、みずみずしい筆致の中に甦る。

作者介绍:

ノーマ・フィールド（Norma Field）1947年、東京で米国人の父と日本人の母との間に生まれる。1965年、アメリカン・スクール卒業後に渡米し、カリフォルニア州の女子大（当時）、ピツツァー大学へ。フランス留学中に「5月革命」を経験。帰米、卒業後は教師、主婦などを経て、1983年にプリンストン大学で博士号取得。2004-05年、小樽市在住。現在、シカゴ大学教授。専攻は日本文学・日本文化。シカゴ在住。

著書に『天皇の逝く国で』『祖母のくに』『へんな子じゃないもん』（以上、大島かおり訳、みすず書房）、『源氏物語、「あこがれ」の輝き』（斎藤和明・井上英明・和田聖美訳、同）、『平和の種をはこぶ風になれ』（共著、梨の木舎）ほか。訳書に夏目漱石『それから』（ミシガン大学日本研究センター）。

目录: プロローグー多喜二さんへ

第一部 世界と向き合う作家へ—助走の日々

- 1 近代としての北海道—その「心臓」小樽
- 2 少年期の眼差しとことば
- 3 人生観、世界観の形成
- 4 記憶される青年・多喜二

第二部 銀行員からプロレタリア作家へ—「人間への信頼」を基に

- 1 田口瀧子との運命的出会い
- 2 「頭から」でなく「胸の奥底から」
- 3 第一回普通選挙と日常生活
- 4 『1928年3月15日』の壮絶
- 5 『蟹工船』という鏡

第三部 小樽から東京へ—「体全体でぶっつかって」

- 1 クビになって執筆する
- 2 「田舎者」の新進作家
- 3 新聞小説『安子』
- 4 全力疾走—『党生活者』
- 5 東京の冬空の下の死

エピローグーふたたび多喜二さんへ

あとがき

参考文献

略年譜

・・・・・ (收起)

[小林多喜二 下载链接1](#)

标签

日本

无产阶级

评论

[小林多喜二 下载链接1](#)

书评

[小林多喜二 下载链接1](#)